

T&Dダブルブル・ ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジなし)3)

運用報告書 (全体版) (満期償還)
(償還日 2015年3月10日)

お客様へ

毎々格別のお引立てにあずかり厚く御礼申し上げます。

さて、「T&Dダブルブル・ベア・シリーズ3 (ブラジル・ダブルブル(為替ヘッジなし)3)」は、信託約款の規定に基づき、2015年3月10日に信託期間を満了し償還となりましたので、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

これまでのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

◆当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式/特殊型(ブル・ベア型)
信託期間	2013年2月28日から2015年3月10日まで
運用方針	日々の基準価額の値動きがブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(円ベース)の日々の騰落率の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。
主要運用対象	ブラジルの株価指数であるMSCIブラジル25/50インデックス(円ベース)の日々の値動きの概ね2倍程度に価格が連動するユーロ円建債券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

T&Dアセットマネジメント株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸1-2-3

お問い合わせ先

投信営業部 03-3434-5544

(受付時間: 営業日の午前9時~午後5時)

<http://www.tdasset.co.jp/>

設定以来の運用実績、基準価額の推移等

設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債組入比率	債先物比率	純資産額
	(分配落)	税込分配金	期騰落率			
設定日 2013年2月28日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 1
1期 (2014年3月10日)	6,001	0	△40.0	98.1	—	1,083
償還日 2期 (2015年3月10日)	(償還価額) 5,167.42		△13.9	—	—	27

(注) 基準価額および分配金は1口当たり。基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の代表的な株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債組入比率	債先物比率
	騰落率			
期首 (前期末) 2014年3月10日	円 6,001	% —	% 98.1	% —
3月末	7,199	20.0	98.2	—
4月末	7,952	32.5	98.0	—
5月末	7,854	30.9	98.0	—
6月末	8,162	36.0	97.7	—
7月末	8,658	44.3	98.0	—
8月末	9,663	61.0	98.1	—
9月末	7,438	23.9	97.8	—
10月末	6,876	14.6	98.1	—
11月末	7,940	32.3	98.0	—
12月末	6,004	0.0	97.7	—
2015年1月末	5,462	△9.0	97.9	—
2月末	5,282	△12.0	98.6	—
償還日 2015年3月10日	(償還価額) 5,167.42		△13.9	—

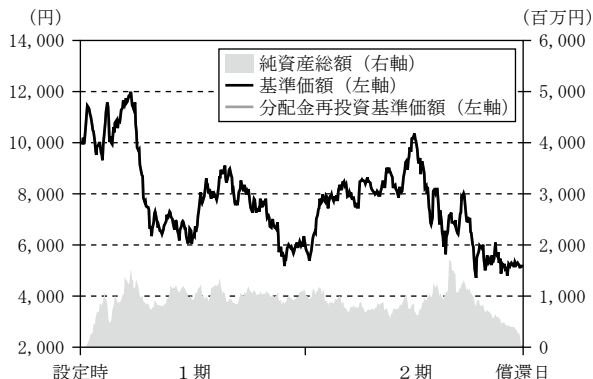
(注) 基準価額は1口当たり。騰落率は期首比。

(注) 先物比率=買建比率-売建比率

(注) 当ファンドは、日々の基準価額の値動きが、対象とする国の代表的な株価指数の日々の値動きの概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行います。したがって、たとえ正確に運用目標が達成されたとしても、2日以上離れた日との比較においては概ね2倍程度の投資成果が得られる訳ではないため比較が出来ないことから、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

設定以来の運用経過

■ 基準価額等の推移



(注) 分配金再投資基準価額は、設定日（2013年2月28日）の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

(注) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 設定日の基準価額および純資産総額には、当初元本を用いております。

■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主としてユーロ円建債券に投資し、日々の基準価額の値動きがMSCIブラジル 25/50 インデックス（円ベース）の概ね2倍程度となる投資成果を目指して運用を行いました。MSCIブラジル 25/50 インデックス（円ベース）が下落した結果、基準価額は下落しました。

■ 投資環境

【ブラジル株式市況】

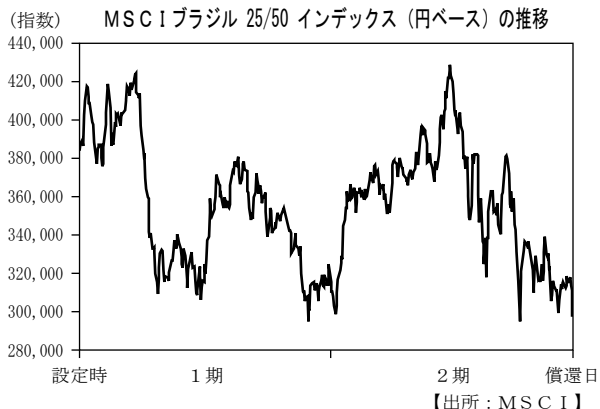
設定日（2013年2月）～2014年2月

設定当初は低調な資源相場、レアル安を背景に、ブラジル株式市場は全体を通して軟調な値動きでスタートしました。その後も、2013年の物価見通しと経済成長率の見直し引下げなどから下落基調となりました。買い材料に欠ける中、5月下旬に発表された2013年第1四半期のGDP速報値が市場の予想を大きく下回る結果であったことを受け、大きく下落しました。

その後は7月上旬に底を打った後一進一退の動きとなりましたが、9月に中国経済指標の改善やシリア情勢を巡る緊張の緩和等により大きく反発しました。

10月下旬には、ウエイトの大きいオレオ・エ・ガス・パルチシパソイス社の破綻懸念が噴出したことを嫌気して大きく下落したことに加え、資源価格の軟調が重なり、下落基調となりました。

2014年2月に入ると、2013年第4四半期の実質GDPが市場予想を上回り、株式相場は上昇しました。



(注) MSCIブラジル 25/50 インデックス（米ドルベース）を当社が独自に円換算した指数を表示しております。

2014年3月～償還日（2015年3月）

2014年10月のブラジル次期大統領選に向けた予想でネベス氏の優勢が伝えられると、ルセフ大統領（当時）からネベス氏への政権交代によって、経済政策にプラスの影響があるとの見方が広がり9月初めまで堅調に推移しました。9月以降になると、米国の早期利上げへの懸念が強まったことや、10月の大統領選で政策に対する不信感が強いルセフ大統領が再選される可能性が高まり、政策の先行き不透明感が強まったことなどから下落しました。さらに金融引締めを続けているにもかかわらず、干ばつも相まって物価上昇圧力は強く、また、財政収支の悪化や2014年第2四半期実質GDP成長率が2四半期連続でマイナスになるなど経済指標の悪化が意識され、12月中旬まで下落を続けました。その後は、資源価格の底打ちや世界的な株高傾向もあり、下落に歯止めがかかり一進一退で推移しました。

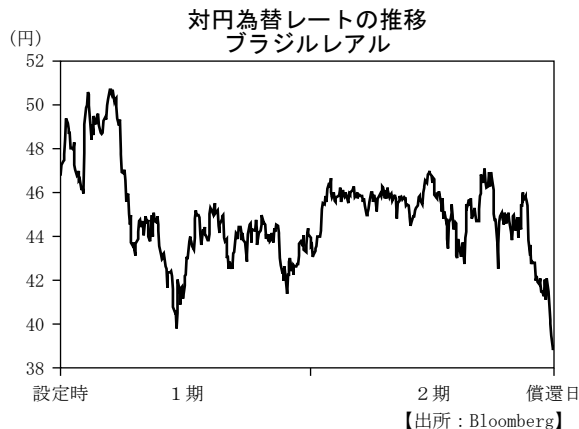
【ブラジルレアル市況】

設定日（2013年2月）～2014年2月

F R B（米連邦準備制度理事会）による米国の量的金融緩和縮小懸念から新興国全般に資金流出が起こり、またブラジルの経常収支が赤字であることも材料視され、ブラジルレアルは2013年8月にかけて大きく下落しました。その後、ブラジル中央銀行の為替介入プログラム決定や度重なる利上げなどを受けて、買い戻されました。為替介入プログラム実施以後、依然として経常赤字、高インフレ率であるものの介入が継続的に行われたことで安定した値動きとなりました。

2014年3月～償還日（2015年3月）

ブラジル中央銀行は、インフレ率の高止まりなどを背景に2014年4月にブラジルの金融政策委員会で9回連続の利上げを決定しました。一連の高金利・インフレ抑制に向けた政策により、4月初旬までブラジルレアルは上昇したものの、その後は、利上げが見送られたことで一進一退の値動きとなりました。8月に国際的な円安容認発言等を受けて上昇しましたが、9月には2014年第2四半期の実質GDP成長率が2期連続で前年比マイナスとなったことや、鉱工業生産指数等の冴えない経済指標を背景に大きく下落しました。さらに、10月の日銀の追加金融緩和を受けた急激な円安が進む局面や、反対にブラジルレアルが急落する局面等を繰り返し、ブラジルレアルの対円レートは乱高下しました。12月にルセフ大統領が再選されて新経済対策チームが発足し、利上げや為替スワップ介入の延長等を行ったものの乱高下を繰り返し、その後はブラジルレアル安に歯止めがかからず軟調な推移となりました。



MSCI ブラジル 25/50 インデックスについて

MSCI ブラジル 25/50 インデックスはMSCIが開発した株価指数で、ブラジルの株式市場の動きを捉える指数です。当インデックスに関する全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その正確性及び完全性をMSCIは何ら保証するものではありません。その著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

■ 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、MSC I ブラジル 25/50 インデックス（円ベース）の日々の値動きの概ね2倍程度に価格が連動するユーロ円建債券に投資を行いました。ユーロ円建債券の組入比率は、追加設定・解約や債券価格の変動に伴う運用資産の増減に伴って調整売買を行い、信託期間を通じて概ね98%程度の水準を維持しました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドはベンチマークおよび参考指数がないため、本項目は記載しておりません。

1口当たりの費用明細（2014年3月11日から2015年3月10日まで）

費用の明細

項目	当期		項目の概要
	2014/3/11～2015/3/10		
	金額	比率	
平均基準価額	7,374円		期中の平均基準価額です。
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	67円 (32) (32) (3)	0.907% (0.430) (0.434) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 運用財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用 (保管費用) (監査費用) 合計	2 (1) (1) 69	0.025 (0.017) (0.008) 0.932	(b) その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 平均基準価額の円未満は切捨て、それ以外の各金額は項目ごとに四捨五入してあります。

(注) 「比率」欄は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

売買および取引の状況（2014年3月11日から2015年3月10日まで）

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	社債券	3,436,122	4,440,659

(注) 金額は受渡代金（経過利子分は含まれておりません）。単位未満は切捨て。

(注) 社債券には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

当期中の主要な売買銘柄 (2014年3月11日から2015年3月10日まで)

公社債

買		付	売		付
銘	柄	金額	銘	柄	金額
		千円			千円
UBS 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	15/2/20	1,393,818	UBS 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	15/2/20	1,896,954
JPM 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	14/11/25	1,264,258	JPM 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	14/11/25	1,852,242
JPM 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	15/11/17	580,045	JPM 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	15/11/17	487,075
UBS 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	16/2/17	198,000	UBS 2XLONG MSCI BRAZIL IDX 0%	16/2/17	204,387

(注) 金額は受渡代金(経過利子分は含まれておりません)。単位未満は切捨て。

利害関係人との取引状況等 (2014年3月11日から2015年3月10日まで)

当期における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

自社による当ファンドの設定・解約状況 (2014年3月11日から2015年3月10日まで)

期首残高(元本)	当期設定元本	当期解約元本	償還時残高(元本)	取引の理由
千円	千円	千円	千円	
1,000	—	1,000	—	当初設定時における取得およびその処分

(注) 単位未満は切捨て。

組入資産の明細 (2015年3月10日現在)

償還時における組入れはありません。

投資信託財産の構成 (2015年3月10日現在)

項目	償還時	
	評価額	比率
コール・ローン等、その他	千円 147,831	% 100.0
投資信託財産総額	147,831	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

資産、負債、元本および償還価額ならびに損益の状況

資産、負債、元本および償還価額の状況

2015年3月10日現在

項 目	償 還 時
(A) 資 産	147,831,367円
コール・ローン等	147,831,327
未 収 利 息	40
(B) 負 債	120,123,642
未 払 解 約 金	116,237,555
未 払 信 託 報 酬	3,849,481
そ の 他 未 払 費 用	36,606
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	27,707,725
元 本	53,620,000
償 還 差 損 益 金	△ 25,912,275
(D) 受 益 権 総 口 数	5,362口
1口当たり償還価額(C/D)	5,167円42銭

- (注) 期首元本額 1,805,960,000円
 期中追加設定元本額 4,789,140,000円
 期中一部解約元本額 6,541,480,000円
- (注) 元本の欠損
 償還時現在、純資産総額は元本を下回っており、その差額は25,912,275円です。
- (注) 1口当たり純資産額は5,167.42円です。

損益の状況

当期 自2014年3月11日 至2015年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	18,224円
受 取 利 息	4,351
そ の 他 収 益 金	13,873
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 4,536,761
売 買 益	241,523,087
売 買 損	△246,059,848
(C) 信 託 報 酬 等	△ 7,936,710
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 12,455,247
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 143,310
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 13,313,718
(配 当 等 相 当 額)	(14,183)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 13,327,901)
(G) 償 還 差 損 益 金 (D+E+F)	△ 25,912,275

- (注) 損益の状況の中で
 (C)信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年2月28日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2015年3月10日		資産総額	147,831,367円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	120,123,642円
				純資産総額	27,707,725円
受益権口数	100口	5,362口	5,262口	受益権口数	5,362口
元本額	1,000,000円	53,620,000円	52,620,000円	1口当たり償還金	5,167.42円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	1,805,960,000円	1,083,680,887円	6,001円	0円	0.00%

償還金のご案内

1口（元本10,000円）当たり償還金（税込み）	5,167円42銭
--------------------------	-----------

お支払場所 取扱販売会社 本・支店

《お知らせ》

平成26年12月1日適用で、委託会社が投資者に対して交付する運用報告書（全体版）について、電子媒体による提供を可能とするよう、約款変更を行いました。

平成26年12月1日適用で、投資信託に関する法令等の改正に伴い、約款変更を行いました。